

(一〇六九) 同	二	岡山縣眞庭郡勝山町 神代「マシゴウ」	同	本郷 勝山町 川西	湯水 五七	低水 八七	平水 一一〇	三七八	二、三九二	三、六五〇	三、〇〇〇	七〇一	一〇〇〇	九、六六	三、五六	二、七三二	甲
----------	---	-----------------------	---	--------------	-------	-------	--------	-----	-------	-------	-------	-----	------	------	------	-------	---

水力地點ノ説明

順位一、〇六八 河川ノ小屈曲ヲ利用スルモノニシテ其ノ左岸ニ取入口ヲ設ケ隧道延長約八〇〇間、開渠延長約二、〇〇〇間トス、用水流木其ノ他關係ナシ

順位一、〇六九 本地點ハ新庄川ノ大迂曲ヲ利用スルモノニシテ左岸ニ取入レ隧道延長約七五〇間、開渠延長約二、二五〇間ヲ開鑿シ旭川本流ニ放流ス而シテ取入口ニハ現在用水引入口ヲ利用シ在來水路約一四町ヲ改築共用シ灌漑反別約三〇町歩ニ對スル所要水量約六個ハ適當ノ箇所ニ於テ之ヲ分水スルモノトス尙下流ニハ小用水アルモ之ニ對シテハ溪流竝ニ支流月田川ノ水ヲ以テ充分ナルヘシ本地點内ニハ眞庭電氣株式會社ノ經營地點アリ其ノ使用水量ハ四六個落差ハ四九尺ニシテ本地點利用ニ當リテハ此ノ地點ヲ相當處置スルノ要アリ。流木ハ月田川合流點ヨリ下流ニ行ハルモ此ノ間道路通スルヲ以テ其ノ出發點ヲ下流約二〇町ナル勝山合流點ニ變更セシムルモノトス

第十九章 高梁川水系

第一節 概説

地形 本流域ハ備中一圓備後東部ニ互リテ其ノ形南北ニ長ク長方形ヲナシ面積一七六方里ヲ占ム。四面山嶽ヲ以テ圍繞セラレ北方ハ中國山脈ニシテ最高ク海拔一、〇〇〇米ヲ超ユル高峰相連ナリテ伯耆ト界シ其ノ支脈南ニ走リ東ハ備前美作ノ國境トナリ西ハ備後東部ヲ抱キテ江川流域ニ相對シ其ノ中間二條ノ山脈ニヨリテ三箇ノ流域ニ分タル、其ノ最高地ナルハ本流域ノ西北隅ニ立テル三國山ヨリ分レテ備中、備後ノ國界トナリ折レテ流域ノ中央南部ニ至ル連嶺ヲ界トシテ其ノ東西ヲ占ムル地域トナス。東ハ阿耆郡全部及上房、川上二郡ノ一部ヲ抱キテ本川ノ上流域ヲナシ西ハ支流東城川(下流成羽川)流域ニシテ比婆、神石、川上ノ三郡ニ跨リ全面積ノ約三割ヲ占ム、次ハ東城川ノ南部流域ヲ劃スル山脈以南ノ地域ニシテ之ヲ小田川流域ト

ナス。是等流域内ニハ概ネ山嶽ノ連互スル所ナルモ山勢概シテ緩ニシテ諸所ニ高原臺地ヲ形成シ沿川諸所ニ平野開ク就中小田川流域ハ四圍ノ山勢最緩ニシテ溪間開ケ水力利用ノ價值少ナキ地域タリ

地質 主トシテ秩父古生層ヨリ成リ花崗岩斑岩等之ニ介在シ中流部以下花崗岩大ニ發達シ下流部第三紀層第四紀層等散在ス

林野狀態 下流部ハ伐採劇シク山林ハ柴草山ト化シ時ニ雜木ニ松樹ヲ交フル混濬林ヲ見ルモ上流部ハ殆ト全部

地目面積表

Table with columns for River Name, Land Use (耕地, 原野, 山林), and Area (面積). Rows include 高梁川, 東城川, and 高梁川合流川.

瀾葉樹林ニシテ諸所ニ針葉樹林ヲ交ヘ全流域ノ五五ば一せんとラ占ム就中高梁川流域ニハ官林諸所ニ散在シ鬱蒼タル森林ヲナセルモ東城川流域ハ概ネ民有林ニ屬シ其ノ

本川ハ上流ヨリ谷開ケ岸低ク兩岸ノ山勢急ナラス千屋村ヨリ新見町ニ至ル流路約三里ハ多少ノ屈曲ヲ有シ流下勾配六〇分ノ一ヲ保テルモ他ハ一般ニ緩ナリ。而シテ新見町ヨリ下流ニ於テハ概ネ臺地ヲ穿テテ流ルルヲ以テ稍急流ヲナシ兩岸急峻ナル深溪ヲ成ヌ流下勾配ハ小坂部川合流點ヨリ佐伏川合流點ニ至ル間二六〇分ノ一、夫ヨリ下

高梁川流量表

關係用水二箇所アリ一ハ右岸ニアリテ水量六八個ヲ引用シ他ハ左岸ニアリテ五個ヲ引用セリ其ノ期間ハ年中トス

Main flow table with columns for Rank (順位), River Name (河川), Measurement Point (測水所), Catchment Area (流域), and Flow (流量) under various conditions (最大, 平水, 低水, 洪水, 最小).

二、水利及治水 本川上流部ニハ水田多ク之ニ要スル灌溉用水多量ニシテ下流部ノ潤渴ヲ來スコト多シ然レトモ

新見町ヨリ下流山間部ニ於テハ用水ノ引用全クナシ

本川新見町ヨリ下流ニ於テハ舟筏ノ流下盛ニシテ四季ヲ通シテ行ハレ流下年額、筏長サ八間、幅九尺内外一、二、〇〇石、舟長サ約六間一、三〇〇艘ヲ算シ又漁業ハ鮎ヲ主ト

狀態良好ナラス而シテ耕地ハ本支川共沿川到ル處ニ存在シ其ノ面積少シトセス

氣象狀態 雨量ハ下流部ニテ一、三〇〇耗内外、中流部ニテ一、六〇〇耗内外ニシテ備中北部及備後東部ニ至リテ漸ク二、〇〇〇耗ヲ上下ス。氣温ハ中流部ニ於テ平均一四度内外ニシテ山間部ニ至リ漸次低下シ備後東部ニ於ケル一一度内外ヲ以テ最低トス

第二節 高梁川

一、河川狀況 水源ヲ阿哲郡千屋村ナル小栗ヶ山三日月山等ニ發シ小屈曲ニ富ムト雖概シテ直南ニ向ヒ井村ヨリ東南ニ折レ新見町ニテ左支熊谷川ヲ容レ其ノ南方字正田ニ於テ右岸ヨリ西川ヲ入レ唐松ニ至リテ左支小坂部川ト合シ夫ヨリ迂曲彎曲シツツ山嶽重疊ノ地ヲ流レ中井村ニテ左支佐伏川ト合シ津川村ニ至リテ左支有漢川ヲ容レ高梁町ヲ過キ其ノ西南半里ノ所ニ於テ西方ヨリ來ル一大支流成羽川備後ニアルヲ東城川ト云フヲ合シテ東南ニ轉シ堪井ニ至リ其ノ北方ニ於テ右岸ヨリ新本川ヲ合シ南ニ於テ西方ヨリ來ル小田川ヲ合セ遂ニ津窪郡ニ至リ二川ニ分水シテ水島灘ニ入ル、此ノ流路約二八里ナリ

流有漢川合流點ニ至ル間ハ平均二七〇分ノ一ニシテ河床砂礫ヲ有スルモ岩盤ヲ露出セル所少シトセス

本川渴水期ハ夏季灌溉期ニシテ六月ヨリ八、九月頃ニ至ル間ニ於テ水量最渴水シ秋季ハ稍低水、冬季ハ概シテ平水ヲ保テ春季ニ高水多シ而シテ最大洪水ハ夏季若ハ秋季ニ起リ渴水量ノ約四〇〇倍ニ達ス

シ其ノ産額多シ。川邊ヨリ下流本川ニ於テハ内務省直轄ノ治水工事アリ

三、水力地點 選定水力地點數一、其ノ馬力數ハ左表ノ通ニシテ許可水力地點ナシ

水力地點ノ説明

順位一、〇七〇 取入口ニ堰堤ヲ設ケ水位ヲ約四尺高メ

高梁川水力地點表

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	互水長路	面積	能發電	年平均馬力數	等級
一〇七〇	高梁川	一	岡山縣阿曾郡石盤郷村 法曹熊野	同郡石盤郷村 柏井高	湧水 一八七 低水 三二〇 平水 五六六	八〇	一六六一 二八四二 五〇二六	三八〇〇	四七六七	一〇〇〇 九四八	一六六一 二六九四	丙

テ右岸ニ取入レ開渠延長約二、〇〇〇間、隧道延長約一、八〇〇間トス本地點ニハ用惡水ニ關係ナキモ舟筏ニハ大ナル關係アリ筏ニ對シテハ使用水量多量ナルヲ以テ之ヲ水路ニ依ラシメ舟ニ對シテハ別ニ專用軌道ヲ布設スルヲ便トス

第三節 小阪部川

一流域 地形 本川ハ高梁川ノ上流ニ於テ左岸ヨリ流入スル支川ニシテ南北ニ狹長ナル流域ヲナシ其ノ面積九八七方里ヲ占ム、地勢ハ概ネ臺地ノ狀ヲナシ山低ク丘陵ヲナシ平野ハ上流ニ於テ展開セリ

地質 流域ノ北半ハ花崗岩及斑岩ニシテ南半ハ秩父古生層ヨリ成ル

林野狀態 本流域ニハ原野多キモ尙其ノ約六〇パーセント

んとハ樹林ニシテ就中潤葉樹林最多ク主ニ最上流部ニ其

地目面積表

河川名	地目		山林		計	合計
	耕地	原野	針葉樹林	潤葉樹林		
小阪部川 (地點一〇七〇以上) (地點取入口以下)	面積(方里) 同百分率	面積(方里) 同百分率	面積(方里) 同百分率	面積(方里) 同百分率	面積(方里) 同百分率	面積(方里) 同百分率
同	九三 一〇六	三〇 三三	〇 〇	三〇 三三	一七 一九	一〇〇 一〇〇
同	九三 一〇六	三〇 三三	〇 〇	三〇 三三	一七 一九	一〇〇 一〇〇

ノ位置ヲ占メ栗、檜等繁茂シテ良好ナル水源林ヲナス針潤混濬林及針葉樹林ハ中流以下全般ニ互リ赤松ニ雜木、雜草ヲ交ヘ其ノ狀態稍劣レリ然レトモ此ノ地方ハ近年植林ヲナスモノ漸ク増加シ其ノ成績ハ日尙淺キヲ以テ詳細ヲ知ル能ハサルモ發育ノ經過良好ナルカ如ク將來ニ於テハ有望ナルヘシ

二、河川狀況 水源ヲ二子山ニ發シ上刑部村地方ヲ東南

ニ向ヒ大字山奥ヨリ南ニ轉シ刑部村ヲ過キ丹治部村ニ入リテ次第ニ西南ニ向ヒ美穀村大字唐松ニ於テ高梁川ニ投ス、此ノ流路約一〇里ナリ

水源ノ溪流ヲ脱シ刑部村、丹治部村ノ中央ヲ流ルル附近ハ谷開ケ河岸低クシテ甚タ緩流ナリ然レトモ豊永村ヨリ下流ニ於テハ概ネ臺地ヲ穿テテ流下スルヲ以テ稍急流ヲナシ兩岸急峻ナル深溪ヲナス河床ハ概ネ岩盤ニシテ勾配ハ平均四八分ノ一ナリ、本川ハ岩質硬ク崩壞等ノ憂少ク出水ニ際シテモ安定ノ狀態ニアリ。流量ノ變化ニアリテハ直接之カ調査ヲ行ハサリシヲ以テ其ノ詳細ヲ知ル能ハサルモ高梁川本流ニ於ケル變化ト大差ナキト認ム

小阪部川水力地點表

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	互水長路	面積	能發電	年平均馬力數	等級
一〇七一	小阪部川	二	岡山縣阿曾郡豐永村 赤馬湯井	同郡美穀村 唐松小市位原	湧水 * 三二 低水 * 五五 平水 * 九八	二四五	八四八 一四九六 二六六五	二九〇〇	七七一	一〇〇〇 九四八	八四八 一四九六	甲

水力地點ノ説明

順位一〇七一 左岸ニ取入レ隧道約一、〇〇〇間、開渠約一、九〇〇間トス用水ハ現ニ一五個ヲ引用シテ一〇四町歩

三、水利及治水 本川ハ上流部田野開クルヲ以テ之ヲ爲ニ水量ヲ引用セラルルコト少カラサルモ豊永村以下山間部ニ至レハ耕地ハ局部的ニシテ大ナルモノ少ク概ネ山間ノ溪流ヲ利用シ本川ニ取入口ヲ構フルモノト雖其ノ水量五個ヲ越ユルモノ稀ナリ

本川上流ニハ流木行ハレス專ラ陸路新見町ニ搬出スルヲ普通トスルモ豊永村、美穀村ノ山間部ハ交通ノ便開ケス此ノ間伐採セラレタル少量ノ木材ノミ本川ヲ利用シテ管流セラル。而シテ惡水、漁業其ノ他ノ關係ナシ

四、水力地點 選定水力地點數一、其ノ馬力數ハ左表ノ通ニシテ許可水力地點ナシ

ノ水田ヲ灌漑スルモノアリ利用ノ際ハ之ヲ二個以內ニ限定分與スルモノトス利用水量ハ順位二七六測水所ニ於ケル調査ノ結果ニヨリ推定セリ

沿岸ニハ道路ナク地勢亦急峻ナルヲ以テ工事ノ施行ハ困難ナルモノト認ム

第四節 東城川

(備後ニアリテ東城川ト稱ス)

一流域 地形 本川ハ高梁川流域ノ西方ヲ占ムル一大支流ニシテ流域ハ其ノ中流稍廣キモ概シテ其ノ幅狭ク彎曲シテ新月形ヲナス、地勢ハ概ネ臺地ノ狀ヲナシ山嶽低ク丘陵ヲナシ平野ハ諸處ニ展開セリ

地質 上流部ハ花崗岩及斑岩ニシテ稍下レハ秩父古生層トナリ中流以下斑岩古生層中生層等相錯綜ス

林野狀態 一般ニ濶葉樹林最多ク栗檜等ヲ主トスレトモ本流域ニ於テハ古來砂鐵ヲ産シ木材ハ之カ熔鑛ノ資ニ

地目面積表

河川名	耕地		山林		合計
	宅地	原野	針葉樹林	濶葉樹林	
東城川	三三六	一三〇	七九	一四〇	六八五
面積(方馬)	三三六	一三〇	七九	一四〇	六八五
同百分率	九・六	三・六	二・三	四・一	一〇・〇

供セシカタメ伐採ニ伐採ヲ重ネ近年斯業甚タ振ハサルモ尙一般木炭ノ産額日ヲ追ヒ増加シ現今ニ於テハ粗雜林ヲ

ヨリ砂礫ヲ有シ急流ノ箇所ニノミ岩盤露出セリ
本川上流ニ於テハ每年秋分ヨリ春分ノ農閑期ニ於テ砂鐵ヲ採取スルタメ該期間ニ於テハ河水著シク濁濁シ到ル所ニ細砂ノ沈澱ヲ生スルコトアリ又近時鐵碎ヨリ製鐵シ夫ヨリ排出スル輕石ヲ河川ニ放流スルヲ以テ既設發電所

東城川流量表

順位	舊順位	河川	測水所	流域面積	流量				流域一方里當流量				
					年次	最大	平水	低水	最小	最大	平水	低水	最小
二七七	三六六	東城川	廣島縣神石郡松村 笹尾川崎	二五五九	大正八年 一六七〇〇	大正九年 一八、一〇〇	大正十年 一三、三〇〇	大正十一年 一〇、五〇〇	平均 一〇、五〇〇	一六、九	一五、〇	一三、三	一〇、五

三、水利及治水 本川上流ニハ耕地多キヲ以テ之ニ要スル用水多ク夏季中流ニ及ホス影響亦大ナリ然レトモ東城町ヨリ下流山間部ニハ灌漑用水全クナシ

流筏ハ帝釋川合流點ヨリ下流ニ行ハレ高梁川ヲ經テ玉島町ニ流送ス筏ノ大サハ幅一間長サ四間内外ニシテ阪本川合流以下二鼻ヲ繋キテ長サ八間トナス然レトモ本川ハ河床荒ク流下困難ナルヲ以テ流量多キ時季ヲ選ヒテ少量

ナスモ其ノ見ルヘキモノナシ中流以下ニハ針葉樹林、針濶混淆林等存スルモ水源林トシテハ殆ト其ノ價值ナク多少ノ人工林ヲ見ルモ樹齡若ク杉、檜等ノ自然林ハ既ニ伐採セラレテ其ノ跡ヲ止メス。而シテ耕地ハ上流並支流ノ沿岸ニ多ク本川中流以下兩岸ニハ殆ト之ヲ認メス

二、河川狀況 水源ヲ三國山、道後山等ニ發シテ小奴可村地方ヲ南ニ向ヒ大字小奴可ヨリ東南ニ轉シ八幡村ニテ右支森川ヲ容レ田森村ニ至リテ左支粟田川ト合シ東城町ノ東ヲ南ニ流レ新坂村ニテ最大支流帝釋川ヲ合ス夫ヨリ東方ニ轉シ小田川、仁伍谷等ヲ右岸ニ合セテ備中ニ入り東南ニ向ヒ湯野村ニテ左支阪本川ヲ合シ成羽町ヲ過キ其ノ東方約一里ニテ高梁川ニ合流ス。此ノ流路約二〇里流域六〇・一五方里ナリ

本川上流部ハ高原ヲ流レ河岸低ク田森村附近流路約二里ハ多少ノ屈曲ヲ有シ流下勾配平均五〇分ノ一ヲ保テルモ他ハ一般ニ緩流ナリ然レトモ東城町ヲ過クレハ浸蝕作用激甚ニシテ河床低ク兩岸絕壁ヲナシ平地ハ極メテ少ナシ流下勾配ハ新坂村ヨリ備中國界附近ニ至ル延長約四里ノ間最急ニシテ平均一三〇分ノ一ヲ有スレトモ阪本川合流點ヨリ下流ハ全ク緩流トナリ舟楫ノ便アリ河床ハ上流

ハ之カ排除ニ對シ不尠考慮ヲ拂ヒツツアリ。上流部地質ハ甚タ脆弱ニシテ風化性著シキモ中下流部ハ概ネ石灰岩ニシテ浸蝕甚シク種々ノ奇巖ヲ爲セリ。而シテ本川流量變化ノ概況ハ次ノ如ク略高梁川ト同様ナリ

之ヲ流下スルニ過キサレナリ

阪本川合流點ヨリ下流ニハ小型ノ川舟往來シ貨物ノ運輸ニ從事スルモノアリ

漁業行ハルモ産額少シ其ノ他治水事業等ノ關係ナシ許可水力地點トシテハ油木、法谷間ニ山陽中央水電株式會社ノ地點一箇所笠神、本川間ニ三菱鑛業株式會社ノ利用地點二箇所アリ

四、水力地點 選定水力地點ナシ許可水力地點ハ支流ヲ除キ總計三地點八、二五六馬力最大九、九六三馬力ニシテ内一發電ヲ開始セルモノニ地點一、三四六馬力最大一、六七一馬力トス

第二十章 太田川水系

第一節 概説

(安佐郡可部町以上)

地形 本流域ハ安藝ノ西部ニ位シ佐伯、山縣、安佐ノ三郡ニ互リテ其ノ形三角形ヲナシ面積七、三八二方里ヲ占ム。其ノ一角ハ東南ニ向ヒ西北ノ一邊ハ中國山脈、他ノ二邊ハ其ノ支脈ヲ以テ圍繞セラレ其ノ最高キハ西北ノ一邊ヲ形成セル連山ニシテ海拔一、〇〇〇米ヲ超ユ其ノ他ニアリテハ概ネ五〇〇米乃至六〇〇米ノ間ニアリ。川ハ西南ノ一隅ヨリ發シテ東北ニ向ヒ中國山脈ニ發シテ南流スル柴木川ヲ合セ右三角形ノ中央加計町ニ於テ中國山脈及其ノ支脈ヨリ發スル瀧山、丁ノ二川ヲ合シ東南ニ轉シ東南隅可部町ニ至ル。此ノ間概ネ山勢急峻ニシテ平地少キモ本川竝支川ノ上流地方ハ臺地ヲナシ山勢緩ニシテ谷開ケ田野展

開ス

地質 支川柴木川、瀧山川及丁川ノ流域ニハ斑岩ヲ露出シ本川上流地方ニハ秩父古生層ヲ見ルモ他ハ概ネ花崗岩ヨリ成ル

林野狀態 一般ニ濶葉樹林最多ク主ニ本、支川ノ上流部ニ其ノ位置ヲ占メ栗、檜等繁茂シテ良好ナル水源林ヲナス

地目面積表

河川名	地目		山林地				合計
	耕地	原野	針葉樹林	濶葉樹林	針葉濶葉混交樹林	計	
太田川	面積(方里) 〇.〇〇	面積(方里) 〇.〇〇	面積(方里) 〇.〇〇	面積(方里) 〇.〇〇	面積(方里) 〇.〇〇	面積(方里) 〇.〇〇	面積(方里) 〇.〇〇
行梨淵水所以上	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇
香取淵水所以上	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇
(龍泉湖水所以上)	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇
可部町以上	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇	同 百分率 〇.〇〇

就中高津川ト其ノ流域ヲ劃スル五里山系ノ如キハ山深クシテ未タ人跡ヲ見サル所アリ針葉濶葉混交林ハ流域全般ニ互リテ雜木ニ松樹ヲ交ヘ針葉樹林ニハ松樹多キモ戸河内村、加計町附近ハ杉、檜ノ植付盛ナリ。耕地ハ本支川ノ上流部ニ展開シ下流部ニハ極メテ少シ